

す)。救急隊や消防機関からの収容要請や初期・二次医療機関からの転送依頼に受動的に応需する三次医療施設としては、このようなシステムに直接アクセスする必要性は少ないと思いますが、先に示した報告書では、ICU・CCUの受け入れ可能情報についても表示するよう要望が出されています。

(1) このようなシステムがあることを御存知ですか？

利用している 知っているが見た（閲覧した）ことはない 全く知らない

(2) (2)このシステムに三次医療機関として情報提供や入力をしていますか？

している していると思う 全く知らない

(3) 診療状況（手術の可否）や空床状況は頻繁に変動しますが、空床情報を頻回に、リアルタイムで更新して行くことが、可能であると思われませんか？

はい いいえ どちらとも言えない

(4) どのような情報システムであれば、救急搬送や医療機関の連携に有用でしょうか？

すでに実行されているシステムがあれば簡単にお教えください。

5) メディカルコントロール体制とMC協議会について

現行のMC協議会の役割は、おもに救急救命士による病院前救護の質の保証としての事後検証や再教育に関する事項の検討であると考えられます。しかし、昨今の救急医療体制の崩壊ともいえる状況から鑑みて、今後のMC協議会のあり方としてその役割の拡大が期待されています（総務省消防庁「救急業務高度化推進検討会報告書」より）。そこで、貴地域のMC協議会の現状についてお応えください。

(1) 貴地域のMC協議会に関して、以下のどれが当てはまるとお考えですか。

現場での問題点を検討し、具体的な解決策を検討する場となっている。

現場での問題点を検討してはいるが、具体的な解決策を見いだせない状況である（議論のみ）。

MC協議会自体がほとんど開催されていない。

(2) 地域MC協議会の今後の方向（協議のあり方や、行政的な位置づけ）として、賛同される項目をチェックしてください。

地域の救急搬送体制の検証

医療機関の救急車受け入れ状況の調査と必要ならば改善策の提言

病院間連携体制の改善のための調整協議

地域医師会（救急医療部会など）との連絡調整を積極的に行う

□ その他 (_____)

6) 救急救命士について

① 救急救命士による搬送中の処置が有効であった事例を経験しましたか？

よくある 時々ある ない わからない

② 救急救命士による処置や判断に不満を持ったことがありますか？

よくある 時々ある ない わからない

③ 救急救命士が病院到着前に行える医療処置をもっと拡大すべきと考えますか？

そう思う そう思わない わからない

④ 明らかな軽症患者の場合、救急隊(救急救命士)は、現場での「搬送不要」の判断

(現場トリアージ)の権限を持つべきと考えますか？

そう思う そう思わない わからない

⑤ 住民の救急車利用を有料化すべきと思いますか？

そう思う そう思わない わからない

ご意見： _____

7) いわゆる「出口の問題」

『救急医療の今後のあり方に関する検討会 中間取りまとめ』の中で、救急車の受け入れ不能の一因として、救急医療機関に搬送され入院した患者が、軽快または病状安定後も救急医療用の病床を長期間使用する事によって、空床確保が困難となる状況、いわゆる「出口の問題」に言及しています。

① 病状改善後に回復期リハや療養型施設等への転院・連携はスムーズに行われていますか？

はい いいえ どちらとも言えない

② 「出口の問題」として、転送先の医療施設が見つげにくいのは、次のうちのどのような状況ですか？(複数選択可)

後方医療施設や介護施設そのものが少ないため

植物状態など、重度の機能障害が残存している

精神疾患を合併しているため

人工呼吸器から離脱できていないため

気管切開がされているため

- PEG（胃瘻）などの管理ができないため
- MRSA など院内感染の原因となる細菌保菌者であるため
- 家族が自宅への退院を希望しない
- 身寄りがない、あるいは独居者(高齢者)であるため
- 生活保護を受けているため
- 患者やその家族が求める医療水準や療養環境と、転送先の状況と乖離しているため
- 転院しても家族の経済的負担が軽減しないため
- その他（) _____

8) 今後の展望

(1) 医師の専門性の高まりが、診療拒否の原因の一つと思われますが、現行の「新臨床研修医制度」は、その目的とするように、今後、幅広い診療能力を持った医師が増え、救急医療の問題は好転すると思いますか？

- はい いいえ どちらとも言えない

ご意見：

(2) 地域救急医療体制に関する改善策として、すでに一部の地域で行われているシステムなどを参考に、例えば、以下の案を提示し検討することが考えられますが、ご意見をお聞かせください；

- ① すでに秋田県や長野県の一部の地域で行われているように、輪番での当番病院の夜間休日救急外来診療に地域の開業医が加わり、軽症患者を担当してもらうシステムを作る：

可能性がある 難しい どちらとも言えない
- ② 和歌山市で検討されているように、軽重にかかわらず救命救急センターがほとんどの救急搬送患者を収容して、初期治療を終えた後、直ちに二次医療施設に転院・転送するシステム（この場合も、核となる救命救急センターには地域の開業医等が加わる必要がある）：

可能性がある 難しい どちらとも言えない
- ③ 救急車専用と独歩来院患者とを別々の輪番制にする：

可能性がある 難しい どちらとも言えない
- ④ 貴施設が属する三次医療圏（地域 MC 協議会単位）で、夜間・休日に限って、消防署などに電話相談窓口（看護師・救急救命士が当たる）を設置する：

可能性がある 難しい どちらとも言えない

- ⑤ 二次医療施設等に救急車の受け入れを打診する「救急コーディネータ（地域の医師が当番である）」を設置する：

可能性がある 難しい どちらとも言えない

ご意見（あなたの考える良案があればお教えてください）： _____

(3) 診療時間外での軽症患者や緊急を要さない患者による「コンビニ感覚の受診」を抑制する目的で、県内外で、公的病院を含めて数千円以上の時間外診療費の「特別徴収」（自己負担）を導入している医療機関が散見されるようになりました。

- ① この請求方法について賛同しますか？ はい いいえ どちらとも言えない
- ② これによってコンビニ受診の抑制できますか？ はい いいえ どちらとも言えない
- ③ 住民の理解が得られると思いますか？ はい いいえ どちらとも言えない
- ④ 貴院でも導入を考えていますか？ はい いいえ どちらとも言えない

ご協力いただきありがとうございました。アンケートの集計結果は、研究班報告書として上梓
次第、後日、郵送させていただくつもりです。その他、今回のアンケート内容に関わる事柄で、
ご意見、ご感想なりをいただけると幸いです。

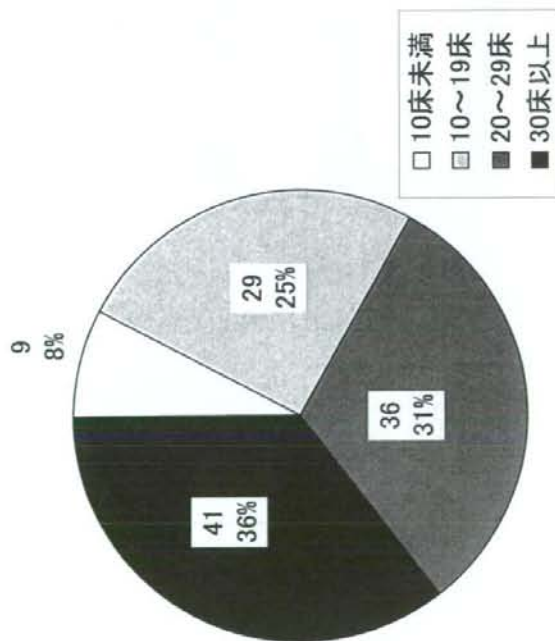
以上文責：小関一英（川口市立医療センター 048-287-2525 kkoseki@my.email.ne.jp）

ご意見・ご感想：

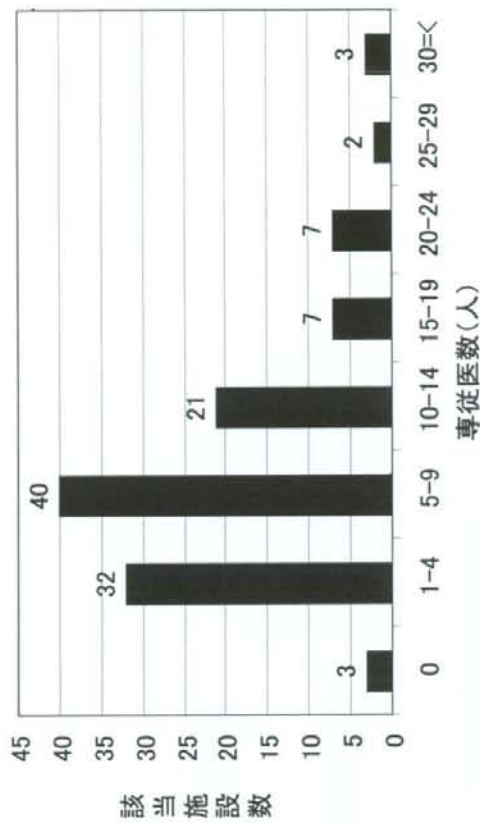
表1. 地方別アンケート回答施設数と救命救急センターの運営方式別施設数

a. 地方別回答施設数		b. 回答施設の救命救急センター運営方式	
北海道(10)	5	A. 救急専門医・専従医等によるER方式	39
東北(16)	8	B. 救急専門医主体の自己完結ないし独立診療方式	27
関東(38)	26	C. 各科オンコールないし該当科連携診療方式	29
東京(22)	12		
甲信越(12)	8	A+B	2
東海(27)	18	A+C	9
北陸(6)	1	A+B+C	2
近畿(31)	17	B+C	6
中国(179)	8	不明	1
四国(10)	6		
九州(20)	6		
合計	115		
(全施設数209)			回収率 55%

a. 専用病床数別カテゴリと施設数



b. 専従医数カテゴリ別の施設数



専従医数：0~32名、中央値：6.0人、平均：8.8人

図1. 回答のあった115救命救急センターの専用病床数規模(a)と専従医数カテゴリ別(b)の該当施設数

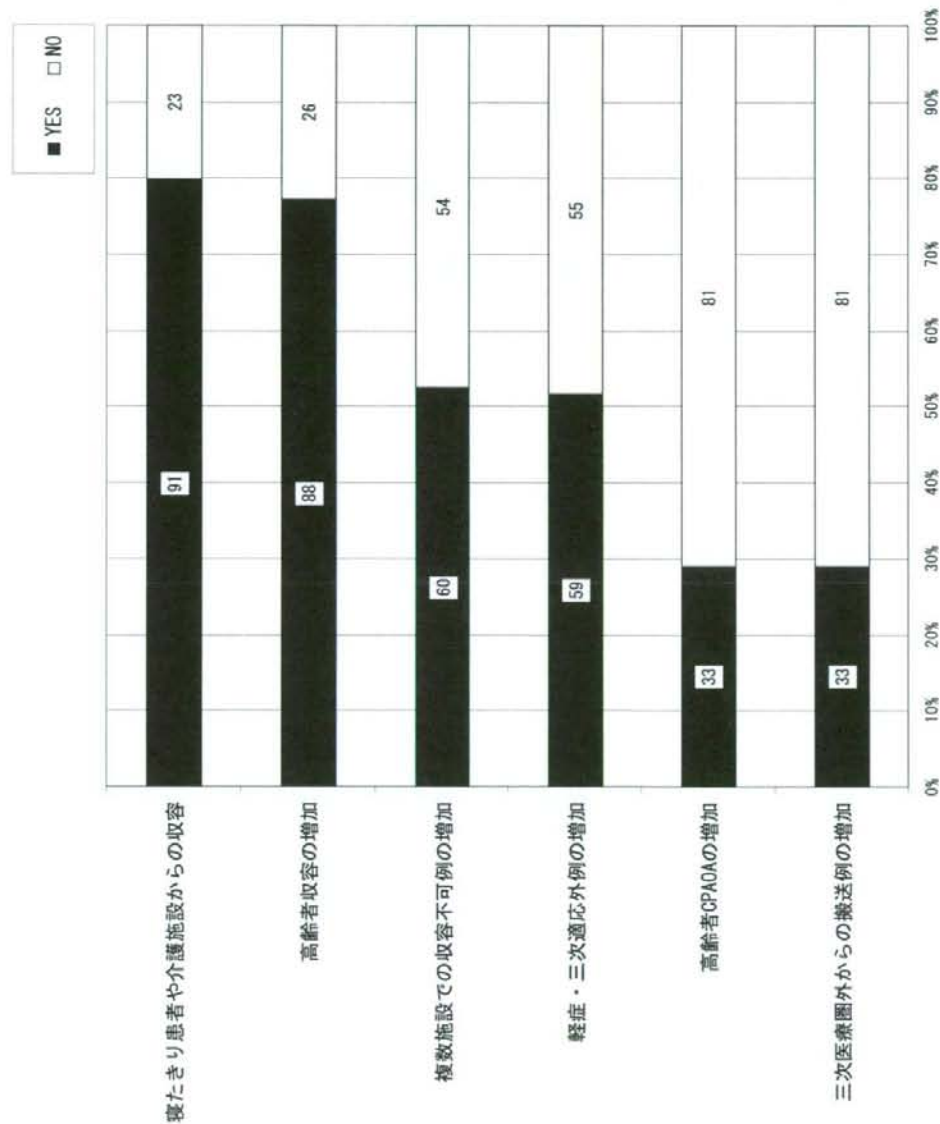


図2. 救急搬送状況の変化
各救命救急センター責任者が感じる最近の救急搬送傷病者の内容の変化についての印象

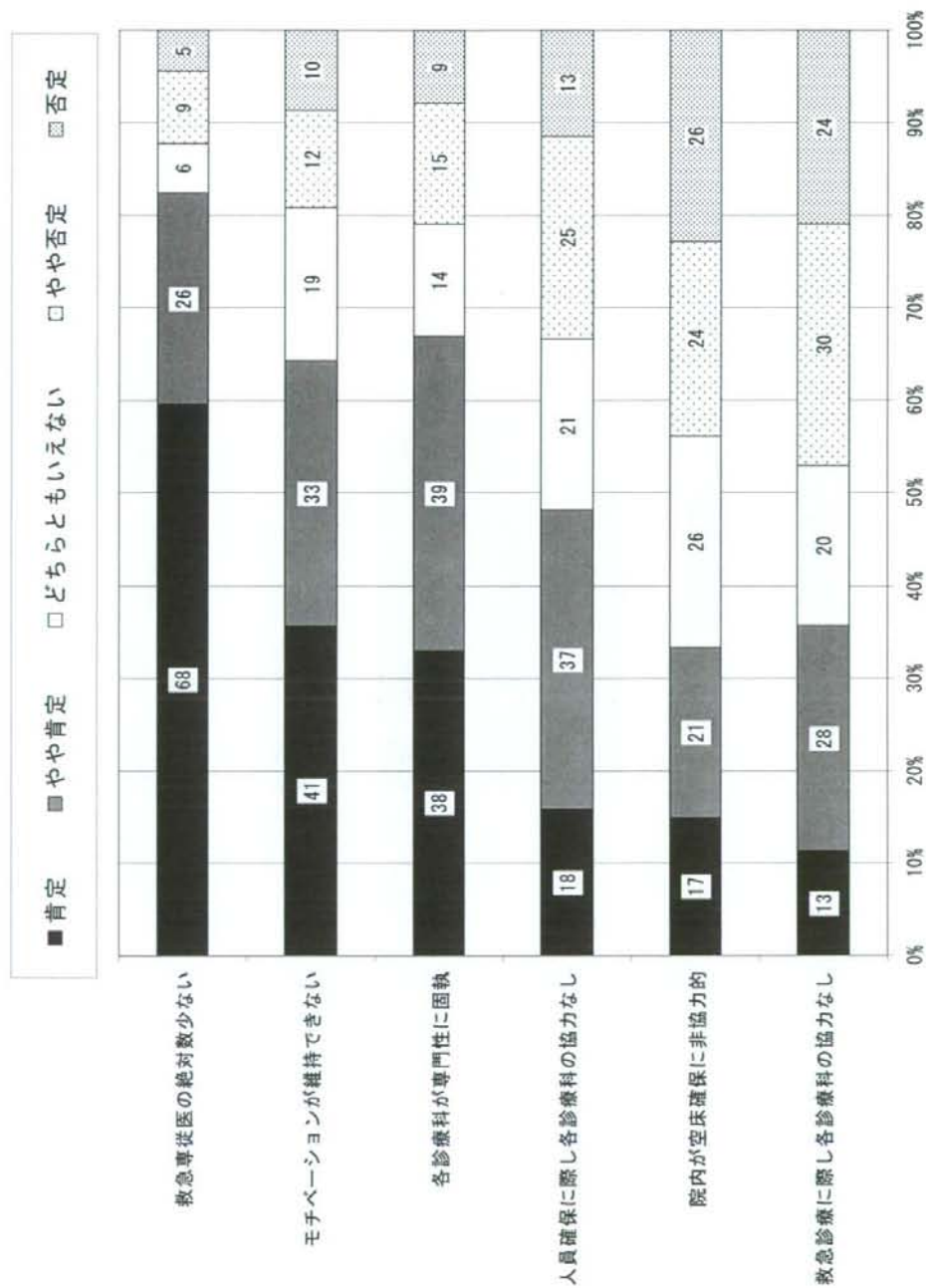


図3. 救急医療が抱える問題点としての内部環境要因

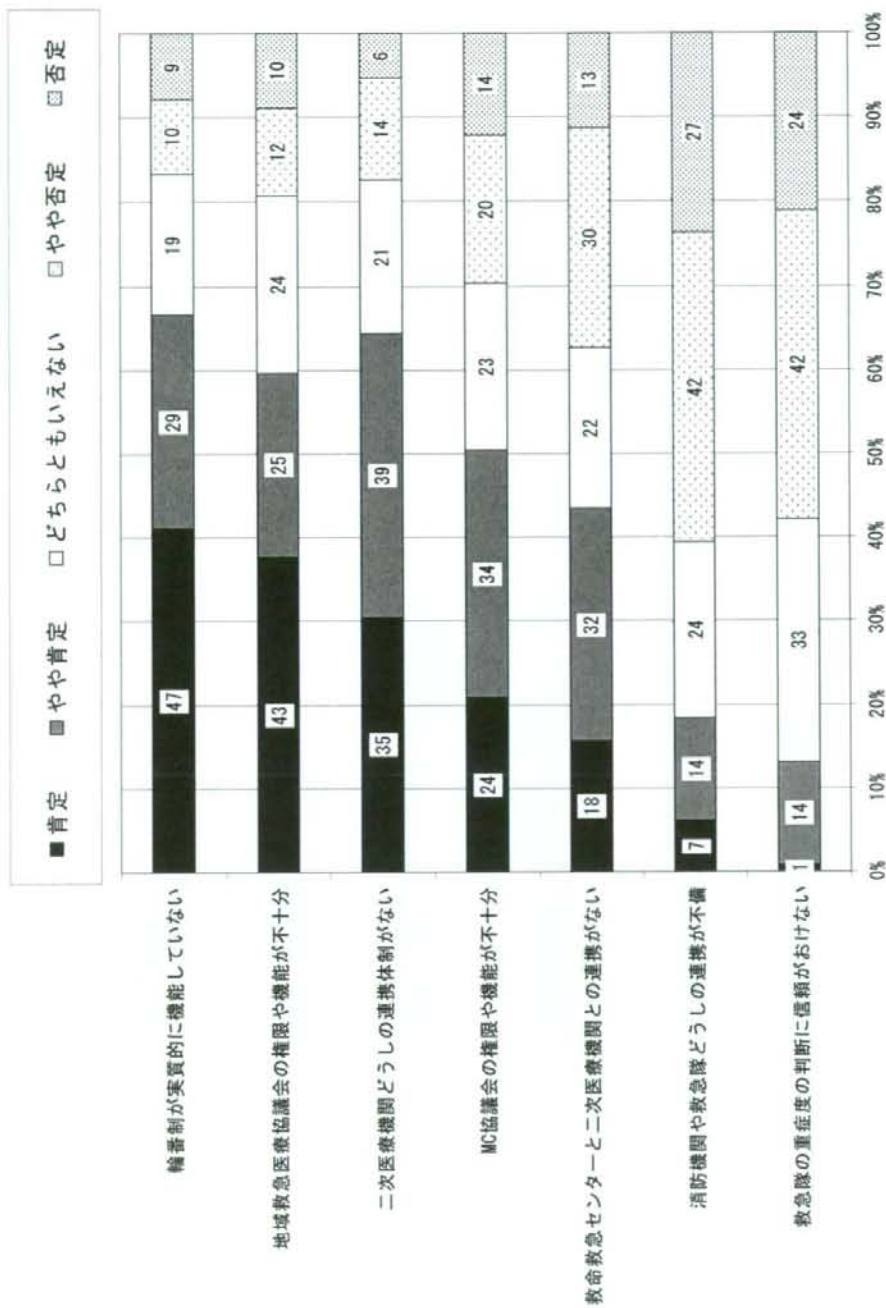


図4. 地域救急医療が抱える問題点としての外部環境要因

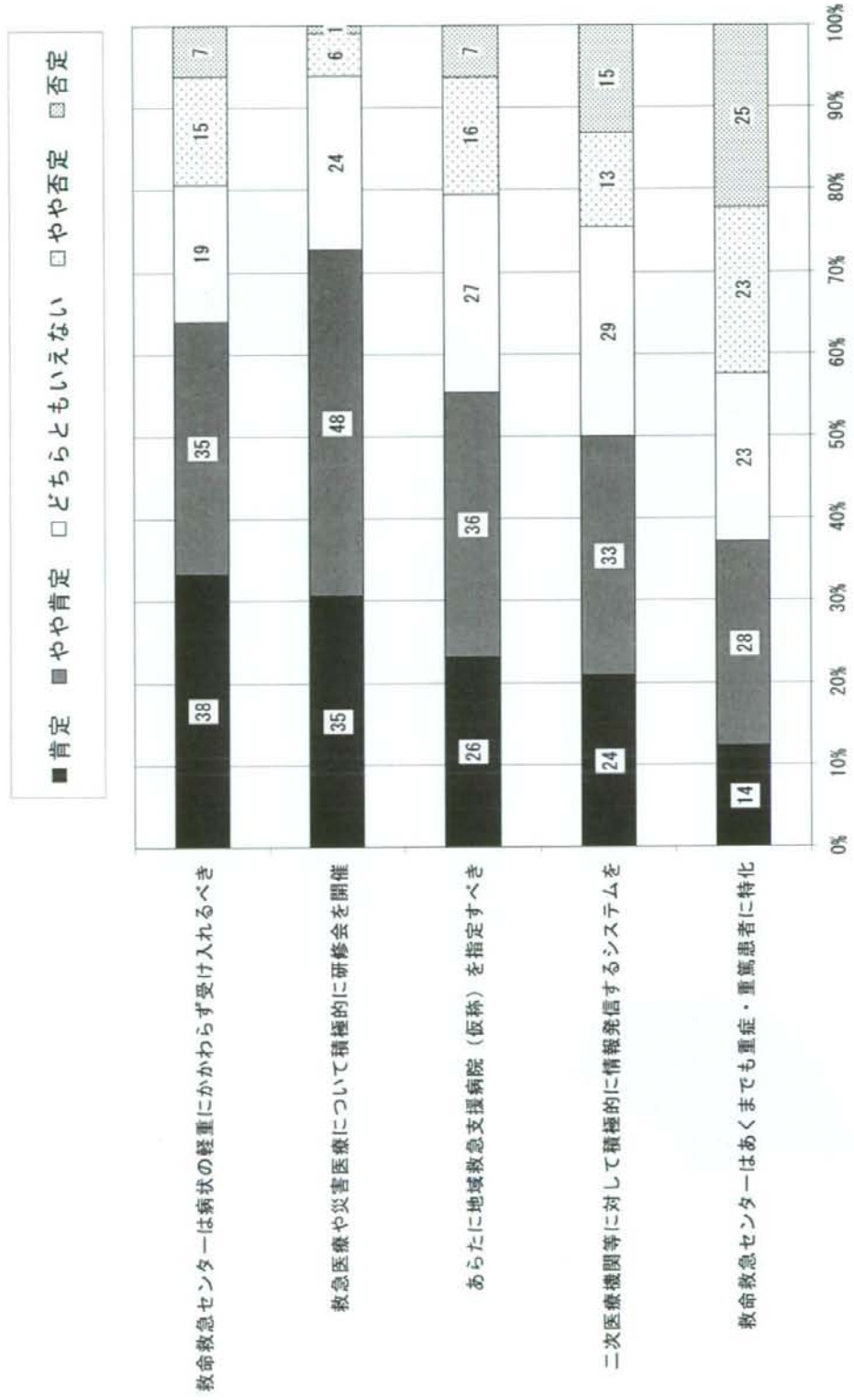
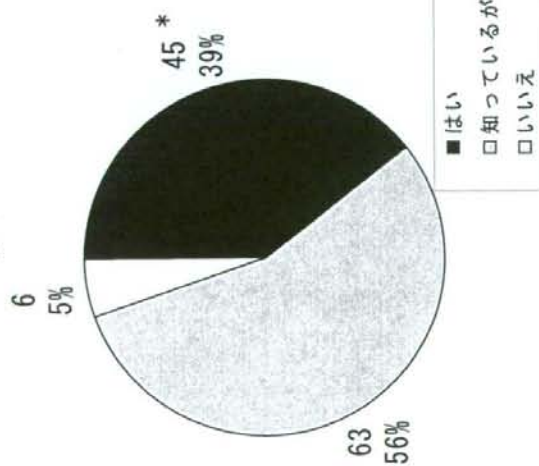


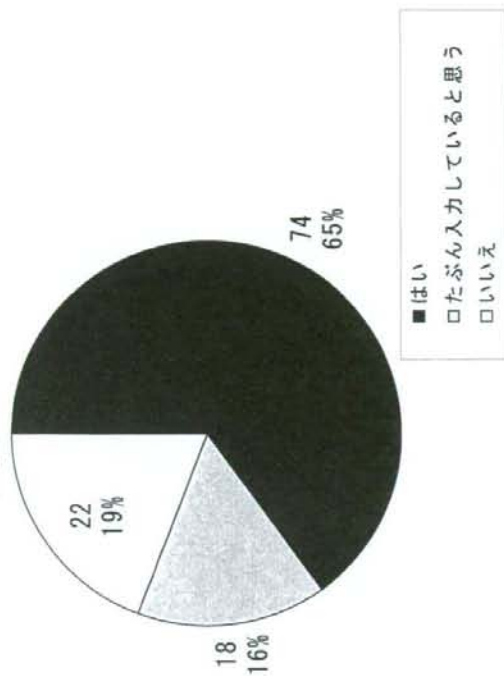
図5. 救命救急センターに望まれる機能

a. このようなシステムがあることを知っていたか？



* システムを利用している

b. 情報システムにデータの入力（情報提供）をしているか？



c. リアルタイムでデータ更新は可能か？

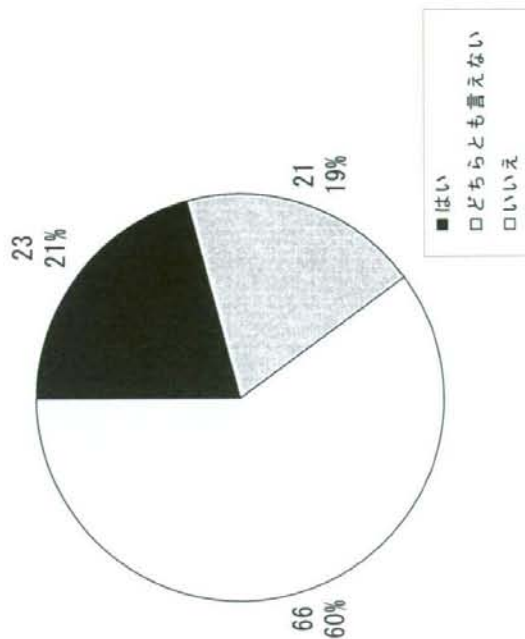


図6. 救急・災害医療情報システムについて

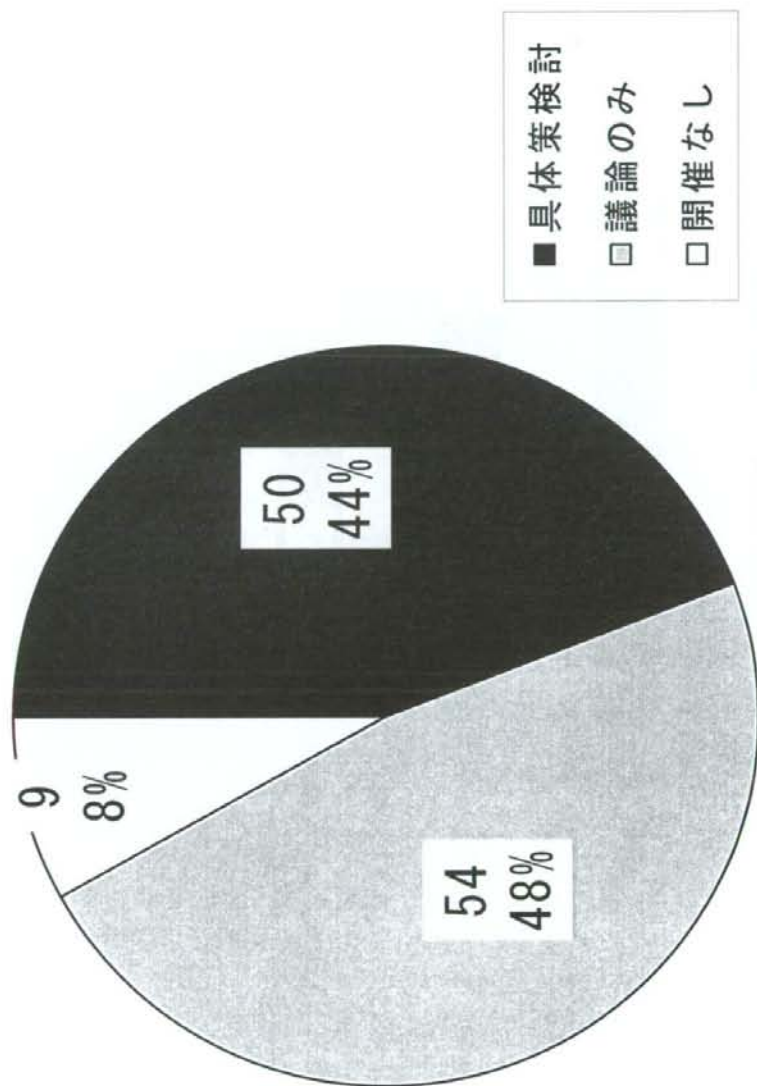


図7. 地域MC協議会の開催状況

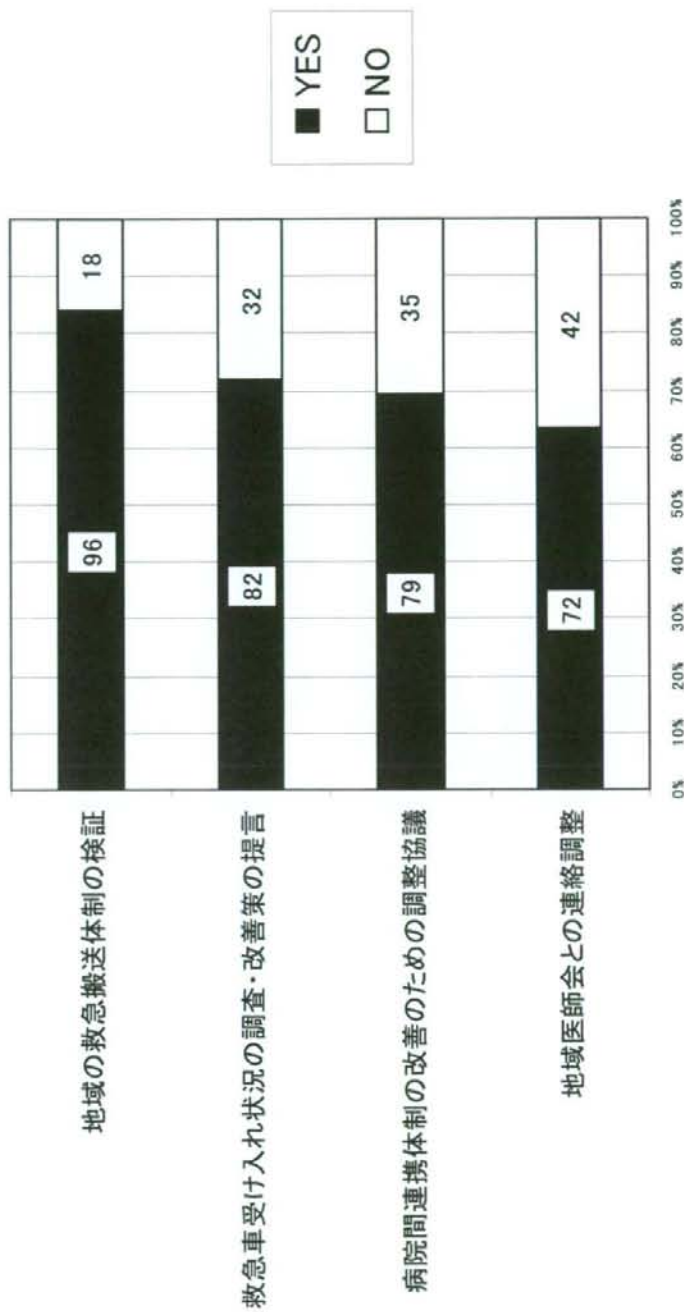
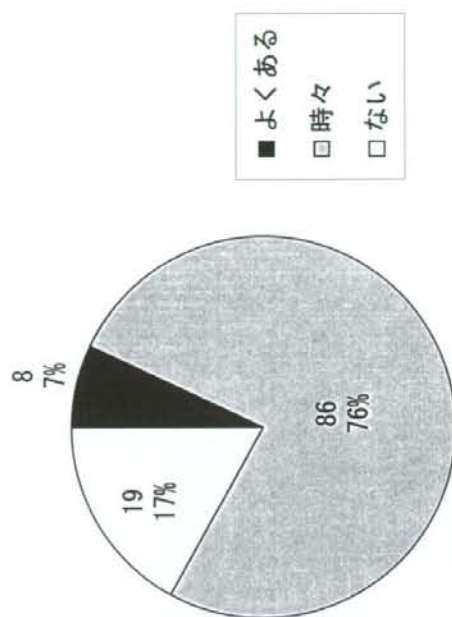


図8. 地域メディカルコントロール協議会の役割

b. 救急救命士の処置や判断に不満を持った



a. 搬送中の処置が有効であった事例の経験

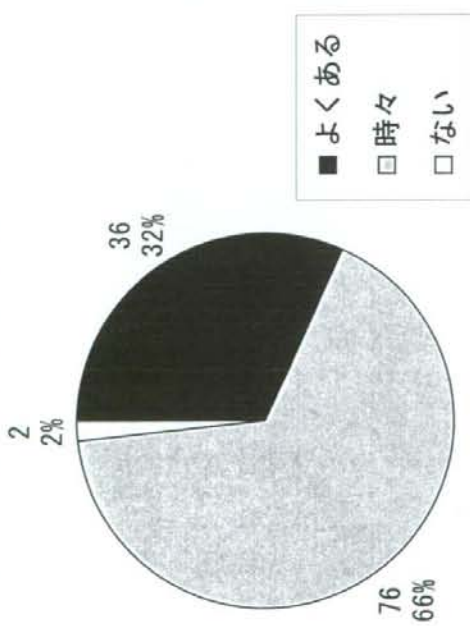


図9. 救急救命士による病院前救護についての評価

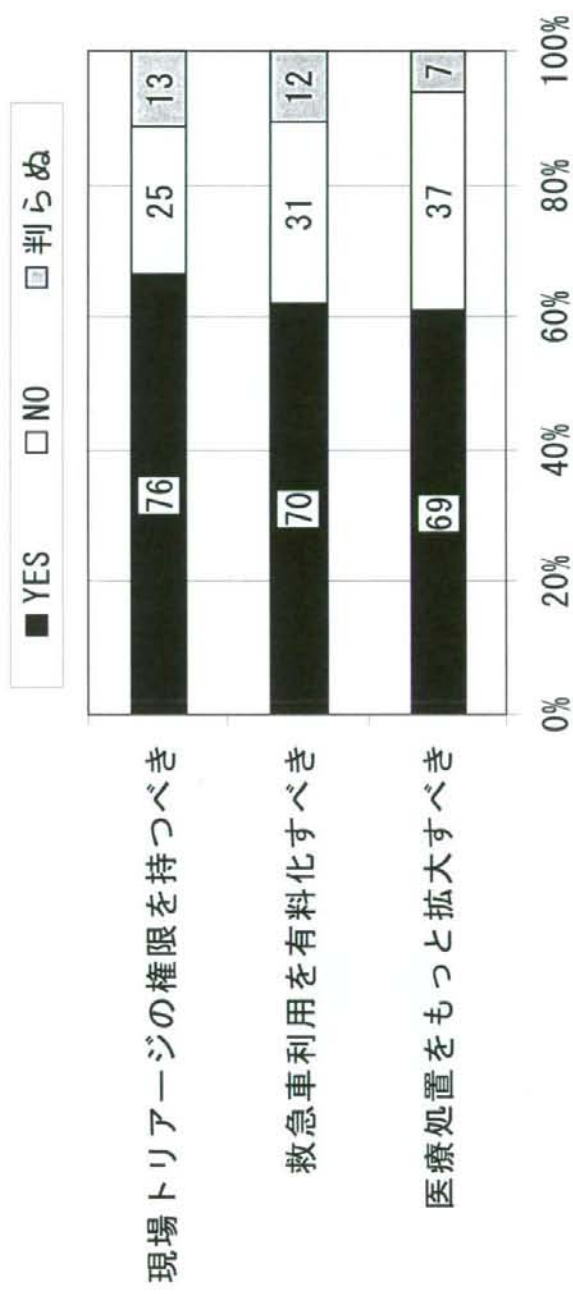


図10. 救急救命士と救急搬送に対する期待

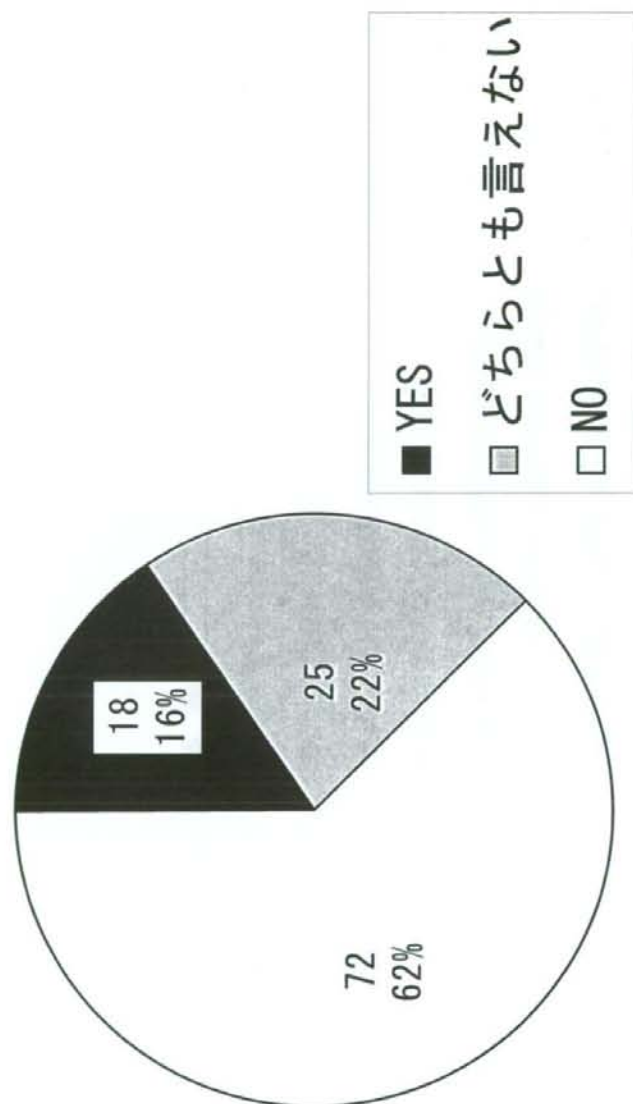


図11. 患者の転院や後方医療機関との連携はスムーズか？

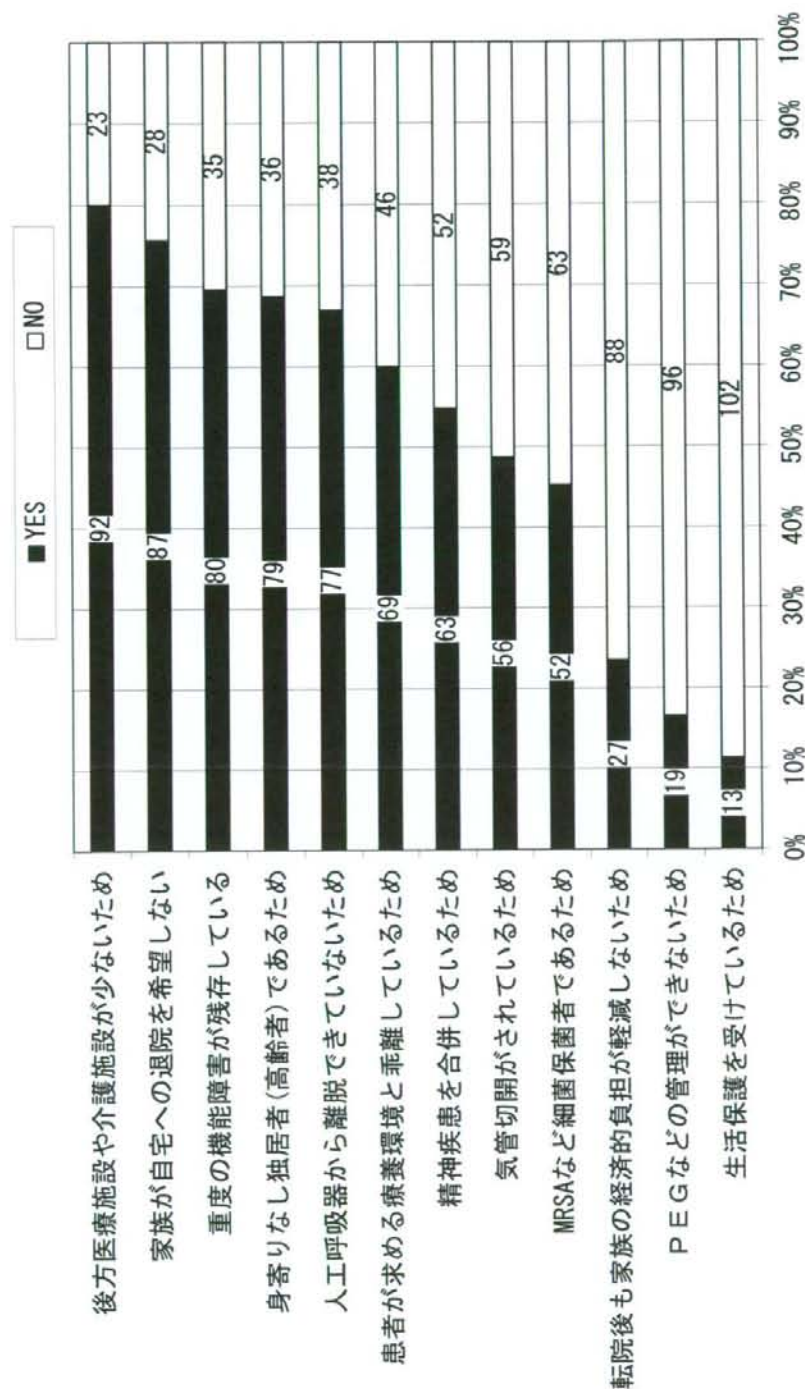


図12. 後方医療施設への転院が円滑ではないとする理由

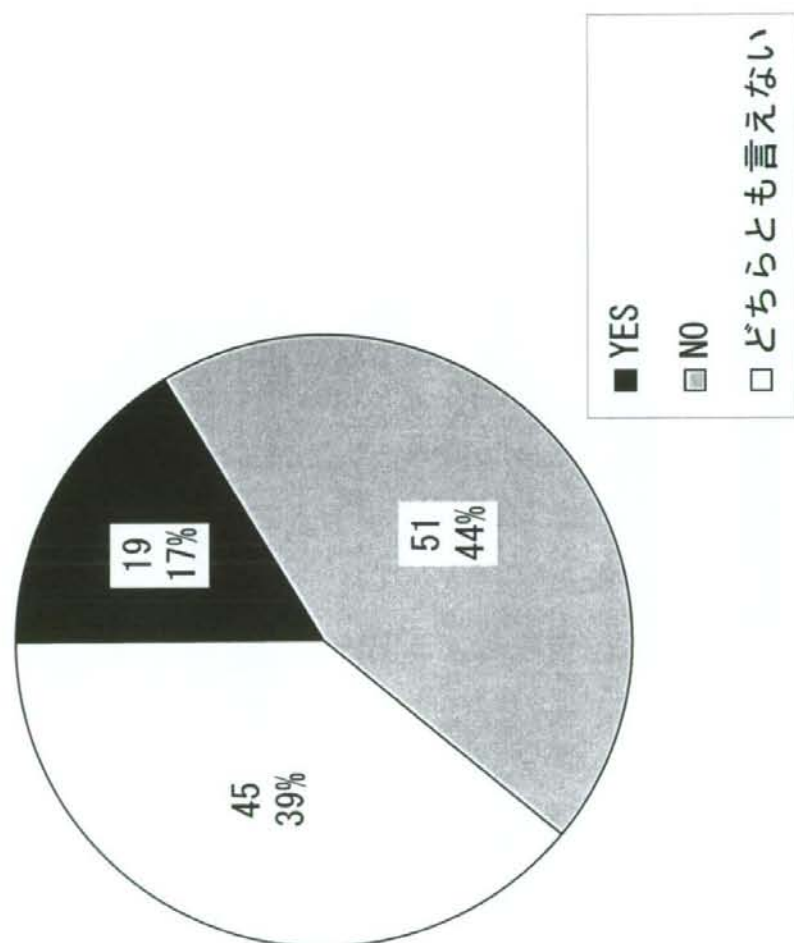


図13. 研修医制度により救急医療体制が好転すると思うか？

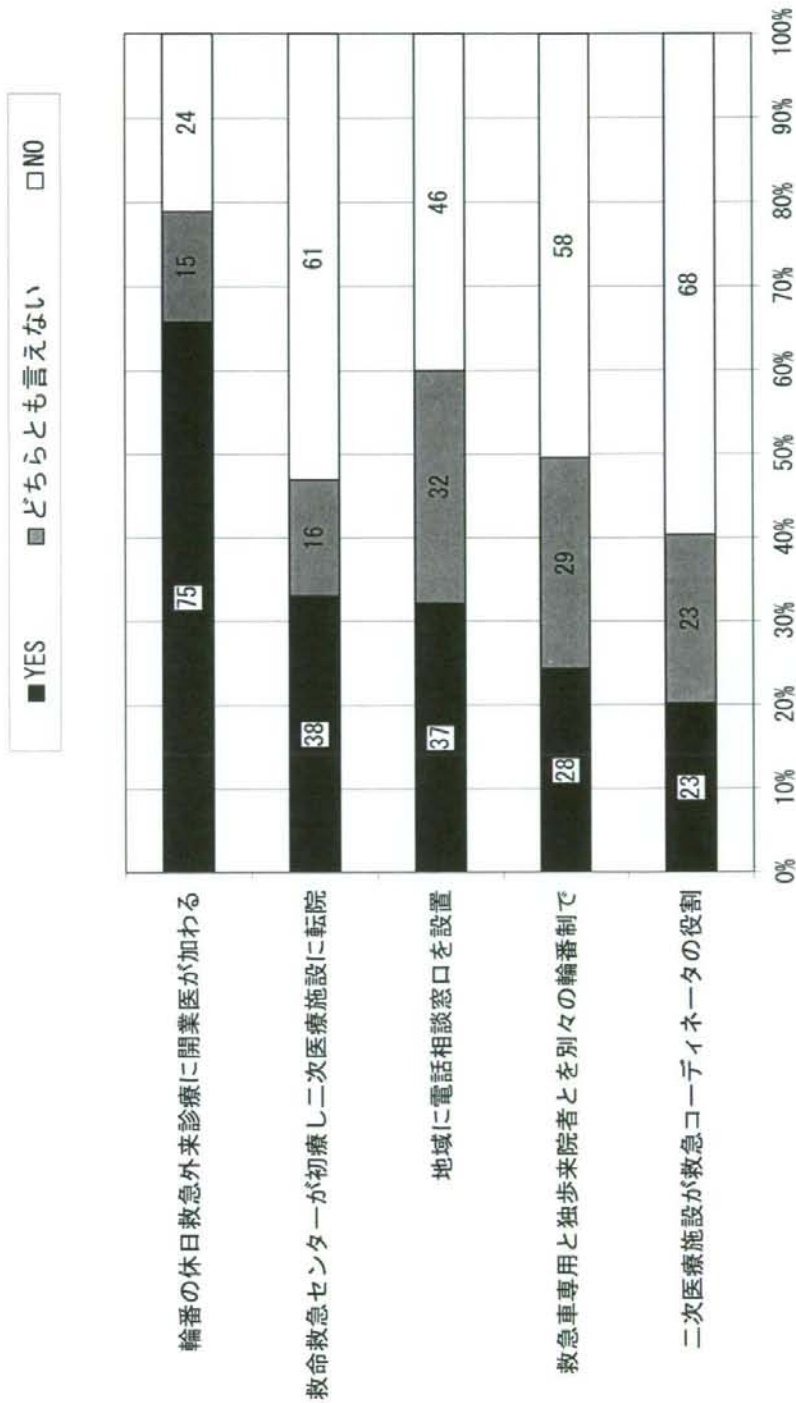


図14. 地域救急医療体制の今後の改善策